



# 上下水道の被害を最小限に

台風による被害と災害対策の取り組み

昨年8月の台風による大規模な被害を踏まえ、市では、災害が起きた時に、市民の皆さんへの被害をできる限り減らすため、さまざまな対策を行っています。

## 台風による上下水道被害

### 水が出ない断水被害

道内各地では、昨年の台風10号による豪雨の影響で水道施設が破損し、大規模な断水が起きました。断水の主な原因は、河川の増水により橋が崩落し、橋に取り付けであった水道管が流失したことなどによるものです。市内でも農村地区で断水が起きたほか、近隣町村では数カ月間、水が出ない暮らしを余儀なくされた地域もありました。

### 水があふれる冠水被害

市内では、道路の冠水や住宅の床下浸水などの被害がありました。



崩落した明星橋（岩内川）



冠水した市内道路



給水コンテナ



給水タンク車

## 上下水道の災害対策

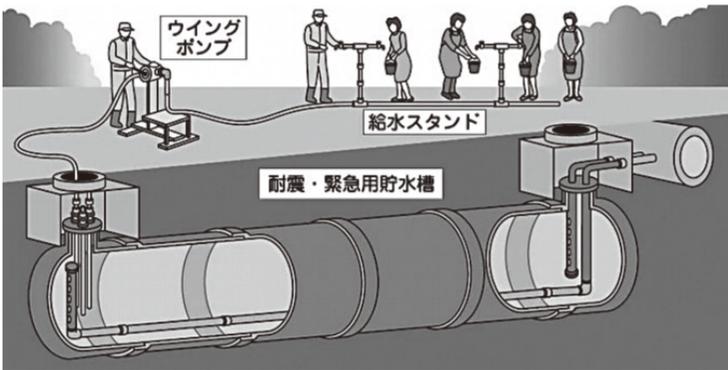
### 断水時でも水を供給する

市では、老朽化した水道管を耐震性の高い管に更新するなど、水道施設の耐震化を進めています。また、万が一断水になっても、市民の皆さんに水を供給できるように、加圧ポンプ付き給水タンク車2台のほか、給水タンク、給水コンテナを用意しています。

表 緊急貯水槽設置場所

場所	所在地
緑丘小学校	西14南17
柏小学校	東8南11
帯広小学校	西8南5
帯広第二中学校	西24南1
栄小学校	西17北1
明星小学校	西4南23
広陽小学校	西19南3
大空小学校	大空町3
若葉小学校	西17南6
緑園中学校	西22南4
南町中学校	西17南35
豊成小学校	清流西1

緊急貯水槽のイメージ



### 市内12カ所に緊急貯水槽

災害時の飲用水を確保するため、市内小・中学校のうち12カ所に緊急貯水槽を設置しています。（表）緊急貯水槽とは、平常時は水道管の一部として機能し、地震などの非常時に、貯めた水を飲用として利用できる水槽のことです。各緊急貯水槽に設置した手動ポンプで水をくみ上げ、給水します。12カ所の貯水槽で、13万人が3日間生活できる分の飲用水を供給できます。

### 冠水・浸水被害の防止

浸水被害を防ぐために、市内の河川の近隣地区や地盤の低い地区など、浸水が起きやすい地区の雨水設備の整備を計画的に進めています。また、マンホールふたを鍵付きふたに取り替え、水の噴き出しやふたの浮上を防止しています。

### 断水・冠水時のお願い

#### 断水に備え家庭でも水を確保

給水タンク車や緊急貯水槽などで供給できる水の量には限界があります。災害に伴う断水に備え、各家庭でも災害を意識した取り組みを心掛けましょう。

- ◆日頃からペットボトル水を備蓄
- ◆地震や大雨で断水になりそうなときは、必要な水を確保するため、浴槽に水を貯めるーなど

#### 冠水時の路面は危険

冠水している道路は、濁った水で路面の状況が確認できない場合があります。また、路側に設置してあるくいや緑石、強風で倒れた看板などがあっても見えにくいことがあります。



雨水管と雨水ます整備後

雨水管と雨水ます整備前



また、ふたが開いたマンホールの穴が見えないこともあるので、冠水している道路の通行はできるだけ避けましょう。やむを得ず車で通行する際は車間距離を十分にとり、徐行して通過する。やむを得ず水の中を移動する際は長い棒で足元を確認しながら移動する。